

広報 トピックス



〈もってけまつり〉

9月6日に道の駅駐車場で開催された商工フェスティバル「もってけまつり」では、市内商店による家電・日用雑貨や魚介類、野菜などの大安売りが行われ、市内外から訪れたたくさんの方で賑わいました。



〈小学校5・6年生スポーツ交流会〉

9月8日、歌志内小学校で市内の小学校5・6年生によるスポーツ交流会が行われ、両小学校混合によるチーム編成でドッジボールを楽しみました。



〈高齢者スポーツ大会〉

9月6日、アリーナチロルで第36回歌志内市高齢者スポーツ大会が行われ、参加した38人の皆さんは、輪投げや玉入れなど全6種類の競技を元氣よく競い合いました。



〈神威児童センター収穫祭〉



〈東光児童館収穫祭〉

9月12日に東光児童館で、また同日には神威児童センターで収穫祭が行われました。5月に植えた苗はすくすくと育ち、畑を掘りおこすと大きく育ったじゃがいもがごろごろと姿を現しました。収穫したじゃがいもは集まった子供たちみんなで塩煮やポテトサラダにして味わいました。

市民のひろば



俳句

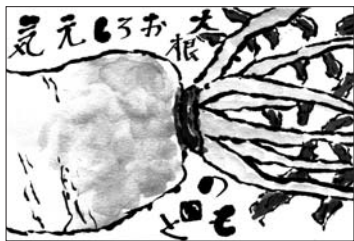
歌志内俳句会選

吉岡 ユカ
住み慣れし町並さびれちろ虫
後藤 妙子
どぞにか隠れて鳴くやちろ虫
佐藤 清子
早起きや赤きトマトの二つ三つ
岡部 康一
東の間のうれひ払ひつ霧の中
柳谷 直明
背伸びして夢を託せり星祭
勝部 貞子
迷路またよけれ背高泡立ち草
須藤 涼子
ブラウスは亡き母のもの白菖蒲
石塚 トキ
荒れ庭や木槿ぼうつと顔を出し

絵手紙

「さわやかに」

田中 順子



「秋の風情」
田村 イサ

倉庫跡屋のちろろの鳴くばかり
根本 美恵
暮れなづむ雲のむらさき秋に入る
大沼 きみ
高瀬 仁孝
浜小屋に積みし浮き玉夕月夜

市民のひろばへの作品投稿は、広報情報グループ(☎4253212)までご連絡ください。

うちの子も げんきです



きくち りあ
菊地 理愛ちゃん
とお母さん



東光三区

お父さん・正人さん お母さん・恵理子さん

長女(1歳)

お母さんのひとこと

お兄ちゃんとケンカしても気にしないマイペースな性格で、おじいちゃん、おばあちゃんと遊ぶのが大好きです。最近少しずつ歩くようになってきたので、外の花を見ながら散歩しています。思いやりのある子に育ててほしいですね。



〈歌志内中学校学校祭〉

9月5日・6日の2日間、歌志内中学校で学校祭が行われ、熱の入った演劇やみごとな歌声の合唱など、各学年ともすばらしい発表が行われ、来場した保護者などから大きな拍手を浴びていました。



〈札幌清田高校演劇部公開リハーサル〉

公民館で9月21日、札幌清田高校演劇部の皆さんが「わが心高原に(作・ウイリアム・サローヤン)の公開リハーサルを行いました。観覧した皆さんは、出演者全員が高校生であることを忘れるほどの演技に引き込まれていました。



ありがとうございます!

〈上歌新栄町自治会：中学校校払い〉

8月29日、学校支援事業として、上歌新栄町自治会の皆さんが、歌志内中学校の駐車場にある立木の枝払いを行いました。関係者の方々もたいへん学校関係者の方々のために、ありがとうございました。



〈神威保育所運動会〉

9月13日、神威保育所運動会が市民体育館で行われ、園児たちは警察官やお医者さんなどに仮装して走る競争や、大きなバトンを使ったリレーなどを行いました。

図書館 だより

☎42~6900

行 事

- 移動どうわ会
 - ▼とき 10月9日(金) 14時30分
 - ▼ところ 神威児童センター
 - ▼内容 本の読み聞かせ、紙しばい
- 移動としよかん
 - ▼とき 10月22日(木)
 - ▼ところ 西小学校 (14時15分〜15時30分)
 - ▼給食センター (15時45分〜16時)
 - ▼市民体育館 (16時15分〜16時45分)
- なかそらち図書館ネットワーク推進事業「絵本の読み聞かせワークショップ」
 - ▼とき 10月17日(土)・同31日(土) 10時〜12時・11月7日(土) 13時〜15時
 - ▼ところ 國學院短期大学
 - ▼講師 松村澄江さん(國學院大學短期大学部専任講師)
 - ▼内容 本の読み聞かせボラ

読んでみませんか?

- 『舶来屋』 (幸田真音著)

戦後、焼け野原となった銀座を前に、長市郎は出征先の天津でみた美しい物が忘れられなかった。闇市から出発し、エルメスやグッチをはじめ数々のブランド品を日本に紹介した商人、茂登山長市郎の半生。
- 『神去なあなあ日常』 (三浦しをん著)

なあなあとは、神去村の人たちの口癖で「ゆつくり」「のどかな」というような意味。高校を卒業した平野勇気は、母親と教師の陰謀で、三重の山奥の神去村で林業の研修生になった。都会しか知らない勇気には、神去村の生活は驚きの連続で……。
- 『龍撃ち』 (久保俊治著)

相棒の北海道犬フチと共に北海道の森を巡り、狩猟生活を送った若き日々を綴ったノンフィクション。